

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：産業教育・キャリア教育担当

内線：6775

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B28	県立高校プロフェッショナル育成推進事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06 次代を担う人財育成	
					分野施策	040834 産業人材の確保・育成		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>専門高校等において企業等の支援を受け、職業教育の充実を図り、専門的知識、技術及び技能の向上を図る。さらに実践的な職業教育で生徒の勤労観、職業観を醸成する。これらにより地域の産業界が求める人材を育成し将来の地域を担う専門的職業人を育てるとともに、就職を希望する生徒の内定率の向上を図る。</p> <p>(1) 職業教育推進事業 $\Delta 761$千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減</p> <p>(2) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業 $\Delta 11,087$千円 見込みを下回ったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 職業教育推進事業 $9,770$千円</p> <p>(ア) 埼玉県産業教育フェア $7,961$千円 専門高校と大学、企業等との連携により、実体験をとおして、ものづくりや専門技術、科学技術などの「楽しさ」「面白さ」「不思議さ」を伝え、創造力豊かで好奇心に溢れた子どもたちを育成する。</p> <p>(イ) 高校生専門資格等取得表彰奨励 320千円 高校生に、専門資格の取得を奨励し、全国レベルで活躍した表彰をとおして、学習意欲の向上を図るとともに、将来、社会で活躍できる産業人材を養成する。</p> <p>(ウ) サイエンスアカデミー $1,489$千円 将来の科学技術の担い手となる県立高校生に、豊富な知識と経験をもつ大学や試験研究機関の研究者・技術者による「活かした科学授業」を行うなどにより、創造性豊かな人材を育成する。</p> <p>イ 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」(SPH) (2校) $14,990$千円 社会の変化や産業の動向等に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図るための特色あるカリキュラムの研究開発や大学・研究機関等との連携など、先進的な卓越した取組の実践研究。</p> <p>(2) 補正予算の概要</p> <p>ア 職業教育推進事業：予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額。</p> <p>イ 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」(SPH)：見込みを下回ったことによる減額。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) (県10/10)</p> <p>(2) (国10/10・県0)</p>								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
$9,500$ 千円 $\times 1.9$ 人= $18,050$ 千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 11,848$	国庫支出金	$\Delta 11,087$				$\Delta 761$	$12,912$
現計額	$24,760$		$14,990$				$9,770$	